



紀伊山地の霊場と参詣道

高野山

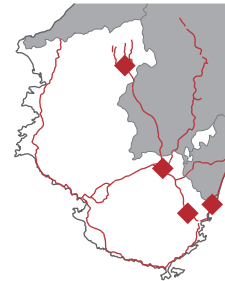
文化財巡礼のしおり



四天王立像のうち 多聞天立像

紀伊山地の霊場と参詣道 文化財巡礼のしおり

「紀伊山地の霊場と参詣道」は、和歌山、奈良、三重にまたがっています。「熊野三山」「高野山」「吉野・大峯」という日本有数の聖地と、それらをつなぐ参詣道の文化的景観の価値が認められ、2004年に世界遺産に登録されました。今年で登録 20 周年を迎えます。



map

奥之院 →

壇上伽藍

御影堂 大塔

金剛峯寺

金堂 不動堂

中門

駐車場

高野山 霊宝館

大門 ←

4

info こうや さんれい ほうかん
高野山霊宝館

和歌山県伊都郡高野町高野山 306

Open 8:30-17:30 (5-10月)
8:30-17:00 (11-4月)
※R7年度からは通年 9:00 ~ 17:00

入館料 大人 1,300 円
高大学生 800 円
小中学生 600 円

休館日 年末年始

stamp

熊野本宮大社

堂々たる社殿（重文）だけでなく、宝物殿には日本で二番目に古い鎌倉時代の「鉄湯釜」（重文）など、奉納品の数々が。

熊野速玉大社

足利義満らによって奉納された、国宝の手箱などの至宝を展示。祭礼で使われていた重文の神輿や船も見ごたえたっぷり。

熊野那智大社

言わずと知れた那智滝、社殿（重文）に宝物殿と見所沢山。参詣曼荼羅や古代～中世の埋納品など、熊野の信仰を堪能。

那智山青岸渡寺

西国三十三所の第一番札所。見所は豊臣秀吉が命じて作らせた本堂。直径 140cm の大鰐口や鎌倉時代の仁王像なども。

和歌山県立博物館

1 年を通じて「聖地巡礼—熊野と高野—」と題し、特別展を開催中。6/15 から 3/9 まで、時期を分けて熊野三山と高野山のそれぞれにスポットを当てます。

本リーフレットは、世界遺産を構成する寺社のうち、美術工芸品の展示公開施設を有する寺社を対象に作成しています。

発行日 / 2024 (令和 6) 年 7 月
編集・発行 / 和歌山県教育委員会

高野山靈宝館

高野山の至宝が集結。拝観はマスト！



弘法大師空海によって開かれた真言密教の聖地・高野山。「山の正倉院」とも呼ばれ、国内屈指の文化財の宝庫として知られます。約3万点もの国宝・重要文化財を収蔵する高野山靈宝館では、様々な展覧会を企画してそれらの至宝を紹介しています。

だいにちによらい ざぞう 大日如来坐像

重要文化財

高野山に伝わる最も古い木彫像のひとつ。それがこの大日如来坐像です。平安時代前期(9世紀頃)の作とされています。壇上伽藍の西塔に安置されていました。瞑想しているような神秘的な眼差しや、がっしりとして安定感のある体つき。開創もない頃の高野山の息吹を感じられます。



してんのう りゅうぞう 四天王立像

重要文化財

ふたつの
四天王像の
違いに注目！



(平安)

広目天 多聞天 増長天 持国天



(鎌倉)

四天王とは、東西南北を守る4人1組の守護神のこと。高野山金剛峯寺には2組の像が伝わりますが、同じ四天王でも全く作風が違います。平安時代の半ば頃に作られた方は、質実剛健なのに少しかわいい印象。鎌倉時代に仏師・快慶が作った方は、力強くリアルな印象。それぞれの時代の流行が感じられます。

じんじゃだいしょうりゅうぞう 深沙大将立像

重要文化財



快慶によって作られた異形の鬼神。首にはドクロの飾りをつけ、両腕には蛇が巻き付き、腹部には人面が浮き出て、膝にはゾウの皮をつけています。中国から来たエキゾチックな新しい図像(イメージ)を、見事に立体に仕上げています。



矜羯羅童子立像

制多迦童子立像

はちだいどうじりゅうぞう 八大童子立像

国宝

日本で一番有名な仏師、平安時代末から鎌倉時代を生きた運慶の作。八大童子はお不動さんの8人の眷属(従者)です。子供の姿なのに知性あふれる力強い眼差しは「人ならざるもの」を感じさせ、その存在感にドキリとします。日本彫刻史上に燦然と輝く、運慶の代表作のひとつです。この八大童子、普段は展示されていないのですが、7/20~10/14に特別公開されます。この機会を逃さないで！！

高野山奥之院と藤原道長

高野山奥之院では、弘法大師空海が今もなお禅定(瞑想)を続けているとされています。「御堂関白(みどうかんぱく)」藤原道長は、治安3年(1023)、58歳の頃に高野山に参詣しています。藤原実資の日記『小右記』によれば、道長が弘法大師の廟堂に参拝した際、廟堂の扉が自然に開き、扉の奥に秘められた墳墓を目の当たりにする、という不思議な体験をしています。仏教を篤く信仰した晩年の道長にとって、忘れられない出来事だったことでしょう。

